

2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 アトラグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6029 URL <https://www.artra-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 久世 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田中 雅樹 (TEL) 06-6533-7622  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績 (2022年1月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	2,169	61.8	△13	—	△21	—	△25	—
2021年12月期第2四半期	1,340	13.0	△34	—	△34	—	△12	—

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 △15百万円( —%) 2021年12月期第2四半期 △20百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	△2.63	—
2021年12月期第2四半期	△1.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	4,367	1,286	29.4
2021年12月期	5,595	1,439	25.7

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 1,284百万円 2021年12月期 1,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,881	54.5	104	—	97	—	50	—	5.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) ー

除外 1社 (社名) 株式会社One Third Residence

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年12月期 2 Q	9,807,000株	2021年12月期	9,767,000株
2022年12月期 2 Q	20,266株	2021年12月期	20,266株
2022年12月期 2 Q	9,757,562株	2021年12月期 2 Q	9,334,594株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	2
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	3
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計方針の変更) .....	5

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,835,494	1,259,976
売掛金	324,707	314,723
営業貸付金	490,742	411,968
商品	740,323	644,198
その他	415,987	176,259
貸倒引当金	△3,967	△2,808
流動資産合計	3,803,287	2,804,317
固定資産		
有形固定資産	127,421	147,018
無形固定資産		
のれん	224,564	—
その他	258,555	241,679
無形固定資産合計	483,120	241,679
投資その他の資産		
投資有価証券	761,058	768,734
その他	484,915	457,457
貸倒引当金	△64,436	△51,483
投資その他の資産合計	1,181,536	1,174,708
固定資産合計	1,792,077	1,563,407
資産合計	5,595,364	4,367,724
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	352,947	154,862
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	407,689	401,106
未払法人税等	24,093	13,330
賞与引当金	24,780	26,880
ポイント引当金	15,569	13,236
収納代行預り金	577,718	534,288
その他	451,541	199,113
流動負債合計	2,154,339	1,342,817
固定負債		
長期借入金	1,727,077	1,483,042
退職給付に係る負債	92,484	87,921
資産除去債務	167,395	151,385
その他	14,615	16,241
固定負債合計	2,001,571	1,738,590
負債合計	4,155,911	3,081,407
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	722,187	727,347
資本剰余金	898,503	903,663
利益剰余金	△178,861	△354,532
自己株式	△159	△159
株主資本合計	1,441,669	1,276,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,216	8,078
その他の包括利益累計額合計	△2,216	8,078
新株予約権	—	1,920
純資産合計	1,439,452	1,286,316
負債純資産合計	5,595,364	4,367,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,340,876	2,169,141
売上原価	907,106	1,417,161
売上総利益	433,769	751,980
販売費及び一般管理費	467,921	765,270
営業損失(△)	△34,151	△13,290
営業外収益		
受取利息	50	74
受取手数料	4,694	3,793
助成金収入	4,113	1,518
投資事業組合運用益	2,061	1,407
その他	563	3,444
営業外収益合計	11,484	10,238
営業外費用		
支払利息	4,647	8,556
為替差損	—	2,765
株式交付費	5,987	6,503
その他	1,681	343
営業外費用合計	12,317	18,170
経常損失(△)	△34,984	△21,222
特別利益		
固定資産売却益	710	761
投資有価証券売却益	30,119	150
関係会社株式売却益	—	10,123
新株予約権戻入益	1,000	—
負ののれん発生益	1,023	—
特別利益合計	32,854	11,035
特別損失		
固定資産除却損	638	0
特別損失合計	638	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,768	△10,186
法人税、住民税及び事業税	7,723	11,769
法人税等調整額	2,172	3,714
法人税等合計	9,896	15,484
四半期純損失(△)	△12,664	△25,671
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,664	△25,671

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△12,664	△25,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,641	10,294
その他の包括利益合計	△7,641	10,294
四半期包括利益	△20,306	△15,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,306	△15,376

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

- ・当社が運営するポイント制度に係る収益認識

当社が運営するポイント制度に基づき、商品の販売時に顧客に付与したポイントについては、従来は将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上する方法を採用しておりましたが、付与するポイントのうち、購入金額に応じたポイント残高については、顧客に対する履行義務として認識し、契約負債に計上する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示していた「ポイント引当金」の一部を、第1四半期連結会計期間より、契約負債として「流動負債」の「その他」に含めて表示しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。